

平成29年度病院医学教育研究助成成果報告書

| | |
|-----------------|----------------------|
| 報告年月日 | 平成30年 4月 6日 |
| 研究・研修課題名 | 視能訓練士技能向上のための研修 |
| 研究・研修組織名（所属） | 眼科 |
| 研究・研修責任者名（所属） | 安井 愛佳（眼科） |
| 共同研究・研修実施者名（所属） | 安部 梨奈（眼科）、加藤 加奈絵（眼科） |

目的及び方法、成果の内容

①目的

今日の高度医療社会において、視能訓練士自身が自己啓発に努め、多様化する社会的ニーズや医療を取り巻く環境の変化に対応し、社会に貢献できる専門職として学習し続けなければならない。

視能訓練士が学ぶことが出来る講習会は多くあるが、開催地が首都圏、関西圏であることが多く、出雲から出かけるのには時間も費用もかかるため研修会を受講することはやや困難である。

研修会に参加することで、当院の視能訓練士の知識、検査技術の向上を図る。

②方法

視能訓練士が参加できる研修会に参加する。

日本視能矯正学会（H29年10月28、29日 仙台国際センター）

③成果

宮城県仙台市で行われた、第58回 日本視能矯正学会に参加した。

メインテーマは「Vision Care-快適な見え方の探求-」であり乳幼児から高齢者までの見え方について深く学ぶことが出来た。

視能訓練士の業務は近年検査機器の発達が進み、検査常務が主になってきたが本学会では視能訓練やロービジョンについても多く発表や議論されており、当院眼科でも昨年よりロービジョン外来が設立され、他院のロービジョン外来の様子や進め方、症例報告などあり今後の外来への参考になった。

当科は昨年からの開設になったが、何十年も前からロービジョンに携わっておられる施設や医師、視能訓練士の話も聞くことができ、今後の参考もだが志を高く持つ良い刺激になった。

会場にはたくさんロービジョングッズやメーカーの方もおられ、当科にないものや新しいバージョンのものもあり、実際に手に取り説明を聞いたりすることが出来た。

ロービジョン外来を進めて行くにあたり今後そろえておいた方がよいものも見つける事が出来た。それらも今後当科でも購入しておくべきだと感じた。

視能訓練の分野では当科にも導入されているオクルパッドの演題も多くあった。まだ始めたばかりの頃は当科でも全員が手探り状態だったので他院に状況を聞いたり業者へ質問をしたりしていたが、どこも症例がまだ少ない状況であり苦労していた。症例が見つければカンファレンスをして症例検討していたのが、今や大きな学会でも症例発表がいくつかあり驚いたと同時に自分たちがやってきたことと照らしあわせ、改善点もみつけた。また私たちが導き出した進め方で良いであろうということもわかり安堵した。しかしまだ当科では症例数も少なく経験も少ないのでこれからも意欲的に取り組んでいきたいと思った。

またマイナーではあるがオクルアの講演が個人的にはとても興味深かった。当科でもオクルアトライアルセットは購入しており実際に患者さんへ処方したこともあるが、症例報告や使用経験についてはあまり耳にする機会がなかった。何十例も経験されていると傾向もわかってきて処方まで進めやすいことや、一つ一つの症例の症状に真剣に向き合っておられ私たちも処方するに当たって患者さんの気持ちを一番に理解しながら処方していくという大事なことに改めて気付かされた。講演の最後に話された、患者さんの気持ちにより添うこともVision Careに繋がっていく。という言葉がとても印象的であり、これからの診療においても忘れずにいたいと思った。（安部 梨奈）

2017年10月28日(土)29日(日)に仙台国際センターで開催された第58回 日本視能矯正学会に参加しました。久しぶりの学会参加をさせてもらい、数年前の研修より検査機器、種類も増え、視能訓練士が出来る検査内容も増えてきました。OCT Angiography については、当院にも同じ検査機器があり、撮影困難な患者さんがおり、アーチファクトについて確認することが出来ました。他のアーチファクトについても初めて知ることができたのもありました。

弱視訓練について最新の治療方針である iPad を利用した o c c l u p a d 訓練についての講演もありました。多施設でのやりかたなども知ることが出来良かったです。

訓練開始時、子供の年齢関係なく訓練対象患者さん全員に訓練する目的を説明することによってコンプライアンスが高くなることは勉強になり、患者さんのご家族に訓練目的を理解してもらえるよう説明するだけでなく本人にも理解できなくても、訓練をしっかりと視力向上のためにもしっかりと説明しようと思いました。

スポットピジョンスクリーナーについての講演もたくさんありました。

測定可能者が多く当院の測定可能率とはだいぶちがうのではないかと思います。

検査対象者が違うと思いますが、当院ではそこまで撮れないので業者の方にも質問できました。

最近当院でも開設されたロービジョン外来についてのロービジョンについても勉強になりました。ロービジョン外来の流れについても決まってもなかったもので、少しでも参考になるように勉強してきました。患者さんの外来のニーズやケアについての、良かったこと、悪かった事についての意見も聞けたので、当院の外来でもアフターフォローについての方針も決めなければならないと思いました。

今回の学会で得たことを臨床で活かせるようかつ、他の当院のスタッフにも情報提供し技能向上に役立つといいと思いました。(加藤 加奈絵)